

第5学年 国語科学習指導案

指導者 倉見 倫代

場 所 3階5年教室

1 単元名 説明のしかたについて考えよう

教材名「天気を予想する」

4 指導計画と評価計画（総時数7時間）

時 次	目 標	主な学習活動	評価規準（評価方法）	評価観点		
				関	読	言
1	一	「天気を予想する」を読んで感想を発表し、単元名・リード文から学習課題を設定し、学習の見通しをもつことができる。	・これまで学習した説明文について振り返り、「説得力のある説明のしかたのアイテムを増やそう」というめあてをもつ。 (発言・ノート)	○		
2	二	三つの問いと答えの関連のさせ方に着目し、構成と筆者の説明のしかたの工夫を読み取ることができる。	・3つの問いと答えの繰り返しになっている文章構成にした意図とその効果について考える。 ・3つの問いと答え、理由、根拠を見つけ、3つの関連を読み取り、これまでに学習した説明文との文章構成の違いを見つける。		○	
3		表・グラフ、数値を用いる意図と効果などに着目し、筆者の説明のしかたの工夫を読み取ることができる。	・筆者が資料として表・グラフを使う意図やその効果を話し合って考える。 ・数値の効果や、筆者の考えとそれを支える事実の記述のしかたについて、確かめながら読む。		○	
4 本時		写真や図を用いる意図と効果などに着目し、筆者の説明のしかたの工夫を読み取ることができる。	・筆者が資料として写真や図を使う意図や、その効果を話し合って考える。		○	
5	三	筆者が伝えたかったことを書きまとめることができる。	・筆者が伝えたかったことを300字以内にまとめ、発表する。		○	
6		自分の感想を書いて発表することができる。	・3つの観点に沿って感想を発表し合う。 (筆者が伝えたかったこと・筆者の論の進め方や説明のしかた・初めの感想と、詳しく読んだ感想のちがい)		○	
7	四	文章構成の工夫や資料を使った説明の効果をまとめることができる。	・説得力のある説明のしかたのアイテムをまとめる。 (発言) ・図・表・グラフ・写真を使った説明の効果を整理している。 (作品)		○	○

5 本時の学習（第4時）

- (1) ねらい 写真や図を用いる意図と効果に着目し、筆者の説明のしかたの工夫を読み取ることができる。
- (2) 評価規準 読 写真や図の使い方について、筆者の意図やその効果に気づいている。
- (3) 準備 写真（掲示用・配布用）
- (4) 展開

過程	学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点・ 評価◎ 支援○
つかむ (5)	1 前時を振り返り、本時の課題をつかむ。 ・表やグラフを使う工夫をすると、説得力のある文章を書くことができるよ。	・表やグラフの効果を確認するため、家庭学習で見つけてきた資料の発表をする。
考える (10)	課題 説明のしかたの工夫 その3（写真や図を使う） 写真や図を使う意図や効果について考えよう。	
学び合う (25)	2 文章を分かりやすくするために写真や図を用いた効果を読み取る。 ○筆者は、どのような意図で写真や図を使ったのだろう。 ・アメダスの観測装置や気象レーダーは、どんなものか知らない人でも分かるようにするために使ったのだと思う。 ・どの写真や図も分かりやすくするために使った。 3 筆者の願いがこめられている写真についての効果を読み取る。 ○6～7ページで、筆者は、もう1枚 写真を使っています。筆者は、どこにどのような写真を使ったと思いますか。 【考え】 ・7ページに空を見ている写真 ・6ページに富士山の写真 ・6ページに急に雨が降りそうな天気の写真 【理由】 ・最後の段落には、筆者が一番伝えたいことが書いてあるので ・天気に関することわざでよく分からないと考えられるから 【根拠】 ・10 段落「自分でも天気に関する知識～」 ・8 段落「一つの手立ては、実際に自分で～」	・ペアで話し合わせ、資料が文章のどの部分を説明しているか理解するためラインを引きながら考えるようにする。 ・写真は、文章では分かりにくいことが分かりやすくなるということをペアで話し合い理解できるようにする。 ・三角ロジックで説明させる。 ・他の人の考えと比べながら、自分の考えを説明できるように、つなげて話すことを促す。 ・分かりやすくなるという観点でさがすだろうと予想できる。それぞれ、自分の考えを分かってもらうためにどこにどんな写真を用いるかを考えるようにする。そうすることで、実際に筆者が用いた写真について、どのような意図があつて自分が撮影した写真を使ったかを考えることができるようにする。
まとめる (5)	○最後のページに筆者は、自分が撮影した台風が来るときの雲写真を使いました。筆者は、どんな考えがあつて、最後のページにこの写真を使ったのでしょうか。 ・一番伝えたいことは、自分で空を見、風を感じてほしいということだから、筆者も自分が撮影した写真を用いたのだと思う。 ・台風の時は、急に天気が悪くなることがあるので、台風が近づく時の写真を用いて、自分で判断してほしいと言いたいのだと思う。 4 学習をまとめる。 まとめ 説明のしかたの工夫 その3（写真・図を使う） 写真や図を使うことで、 ・よく分からなかったことがイメージできて「分かりやすく」なる。 ・「筆者の思いや願い」をメッセージとして送ることができる。	◎写真の使い方について、筆者の意図やその効果に気づいている。（発言・ノート） ○写真や図に表されていることが文章と関連していることを、ラインを引かせて具体的にとらえられるようにする。 ・家庭学習として、写真や資料を用いて文章を分かりやすく説明してある新聞記事などを探してくるように指示する。
	5. 次時の学習活動を確認する。	

(5) 筋道を立てて説明するための本時の位置付け

付けたい力	教師が求める説明	支援
資料活用の工夫について、文章と照らし合わせ、筆者の意図を考えることで説明できる。	叙述や資料を「根拠」に、資料のある文とない文を比較して分かったことや体験を「理由」として、資料を用いた筆者の意図について「自分の考え」を説明することができる。	写真や図が提示されている文章と、資料が載っていない文章を比較することで、資料活用のよさを実感できるようにする。

(6) 板書計画

